



卷頭言 ... 1
特集記事 ... 2 ~ 3
編集後記 ... 4

社会福祉法人 京都光彩の会 光彩だより 令和元年秋号

「光彩だより」2019年秋号 特別企画

若手座談会 ~ 真面目ガールズトーク♪この仕事のやりがいは？~

2019年4月から「働き方改革」が始動し、私たちの労働環境は大きく変わろうとしています。福祉の現場でもその影響を受けての取り組みが既にスタートしています。それと関連して若手職員の育成や定着といったテーマも、重要な課題の一つです。

こうした現状のなか、広報委員会の打ち合わせで「若手のスタッフはどんな思いで仕事に取り組んでいるのか聞いてみたいなあ…」というつぶやきからこの企画を実現しました。

対話を活発にして、
危機をチャンスに
卷頭言

脳は自然治癒力を持っているとされます。それを邪魔するのが心です。心は脳が休みたいと言っているのに警告を無視します。その行き着く先が精神の病です。脳と対話し、タイミング良くお風呂に入り森林浴し多様な人と対話ができると病気になります。ただし心に圧力をかけている社会の問題を見過してはなりません。利用者は「働くのが下手な人ではなく、休むのが下手な人」だと言われるゆえんです。今回の報酬改定は精神障害のことがまるつきり分かってない官僚の暴挙です。工賃連動、就労継続実績運動。とにかく「働かせよ」です。当法人も質の高い働きかけをしているにも拘わらず経営の苦境にあります。報酬の「生活の質」が向上すること、への働きには、利用者が休息タイミングを分かることになること、それを周囲に伝えられることがあります。当然、職員にもそう。しかし、気持ちのキヤツチボールの対話ができる関係があること、役割・趣味・生活基盤の資質として、①相手の痛みが分かる、②シャイである、③裏表がない、④挫折体験・被差別体験をもつ、の4つを挙げます。H.S.サリバンは、職員の資質として、ぜひ皆さんとの対話の力で、利用者に労働を強いるだけの歪んだ事業所の方針性を危機をチャンスに変えていきま

若手座談会 ~真面目ガールズトーク♪ この仕事のやりがいは?~

Chapter.1
いま仕事をする中で感じていることは?

高瀬 この年齢で「経験しておいた方がいい」とつてありますか?

梅沢 いろんな経験をするつて大事。仕事以外の経験が支援に役立つことはいっぱいあるかな。

高瀬 面談で利用者さんに趣味や好きなことを聞いて、逆に利用者から同じ質問された時、すぐに出でこなくて考え込んでしまいました。仕事での経験の中だけだと視野が狭くなってしまう。仕事以外にもいろんな経験を通して、自分の中の引き出しを増やしていくたらと思います。

斎藤 私は一般企業で働いた経験がありません。就労相談を受けた時に、自分は直接経験していないので、そのことに引き目を感じます。

Chapter.2
仕事を選んだ理由
精神保健福祉の



て魅力を感じた。

斎藤 私の知り合いにうつ人がいて、目に見えない障害に対して子供の頃から何かできないかなと考えてました。目に見えない障害の人への支援をしたいとずつと思っていて、大学を選ぶ時に迷つたけど、福祉学部を選んだのがこの世界に入ったきっかけです。

神野 私はあまり勉強が好きではなかつたけど、心理学にはずっと興味があつて勉強が続きました。大学3回生になつて、周りはみんな就職活動を始めているのに、私は覚悟ができなくて悩んでいました。その時に、社会人として働く前にもつと成長したいと思い大学院へ進学しました。今振り返ると自分にとって院生時代はモラトリアムの時代と言えます。院生の時はスクールカウンセラーをしながら、子どもと遊ぶプレイセラピーを勉強していました。ちょうど大学院の先輩

から西山高原工作所でのアルバイトを紹介されて、プレイセラピーで学んだことが大人の支援にも活かせると思い受けましたが、実際に現場を経験する中で、一対一の面談場面やグループワークの進め方で悩むことがあります。勉強の必要性を感じています。

2

高瀬 昔、祖母が高齢者デイサービスに行って、その様子を見る中で福祉の世界に興味が湧きました。大学を選ぶ時には自分の将来を考え何か資格を取りたいと思い、福祉の資格取得を目指しました。漠然となる仕事は自分に向いているかなということが選んだ理由です。福祉の世界に身を置いていると、福祉現場で目にすることができる、福祉の世界に身を置いていること世の中の当たり前と思つていましたが、最近友達と話して、福祉の世界は違う世界と思われてることに気が付きました。自分が仕事で経験していることを話すと違う世界

ファシリテーター
梅沢 信吾さん
ワクステーションかれん工房
作業療法士 平成18年入職
最近ハマっていることはバイク。休日は仲間とともにツーリングに出かけている。



の人みたいに言われて、「これは皆が住んでいる同じ社会で起こっていること」といつても「自分からは遠い世界での出来事」と思われている感じです。他の人から見るとそんな風に見えているのかと改めて知りました。

Chapter.3

この仕事の やりがいは？

斎藤 利用者の些細な変化を感じた時にやりがいを感じます。例えば、これまで体調を崩しがちだった方がいろんなかかわりの中で一年間入院しなかつたことなど、実際私は何もしてなくて本人の力が大きいけれど、自分の関わりが多少なりともその方の生活にいい影響を与えていたとしたら嬉しいです。



取材協力：喫茶 S i r a r a（京都市中京区壬生東大竹町21-4）

高瀬 利用者に何かしらの変化があった時。生活の中でもほんの少しの変化が生まれるきっかけになつた時、利用者が前よりもちょっとと生活がよくなつて、「相談してよかったです」と言ってもらえた時は私自身も「よかったです」と嬉しくなります。

神野 京都光彩の会は、法人理念が素敵だと思います。私が学んできた臨床心理学の「臨床」には、病床に臨むという意味がありますが、まさに「寄り添い」という法人理念にぴったりだと感じています。西山高原工作所の魅力は、些細なことでも立ち止まって一緒に考えられる環境があることです。毎日の出来事が、自分にとつてどういう意味を持つのかをそれぞれが考えてゆけるよう、何でもフィードバックし合える関係性を大切にしていきたいです。

高瀬 支援センターなごやかでは地域で暮らしている当事者の方や、ご家族、関係者の皆様からのご相談に 対応しています。職場内では定期的にミーティングが開催されており、各相談員の状況やケースについて他の方の視点も交えて検討で きるところが心強いでです。法人全体として統合失調症カフェなどの新たな取り組みも積極的に行い、多機関と連携しているところも特

Chapter.4

京都光彩の会の 魅力について

高瀬 利用者に何かしらの変化があつた時。生活の中でもほんの少しの変化が生まれるきっかけになつた時、利用者が前よりもちょっとと生活がよくなつて、「相談してよかったです」と言ってもらえた時は私自身も「よかったです」と嬉しくなります。

神野 京都光彩の会は、法人理念が素敵だと思います。私が学んできた臨床心理学の「臨床」には、病床に臨むという意味がありますが、まさに「寄り添い」という法人理念にぴったりだと感じています。西山高原工作所の魅力は、些細なことでも立ち止まって一緒に考えられる環境があることです。毎日の出来事が、自分にとつてどういう意味を持つのかをそれぞれが考えてゆけるよう、何でもフィードバックし合える関係性を大切にしていきたいです。

斎藤 朱雀工房は、地域のお祭りやイベントによく参加させてもらっています。出店では、作業場面では見られない利用者の新たな一面を見ることができ、新たな気づきを得ることができます。また、地域の方に授

**斎藤 衣舞さん**

京都市朱雀工房
精神保健福祉士
平成27年入職

最近ハマっていることは旅行。この夏、石垣島を満喫しました。

**高瀬 加帆さん**

京都市障害者地域
生活支援センター
「なごやか」
精神保健福祉士
平成27年入職

最近ハマっていることは登山。先日大文字山に登って迷いそうに…。

**神野 瑞里子さん**

西山高原工作所
公認心理士
平成30年入職

最近ハマっていることは声優さんのライブとプロレスとそれらに付随するものすべて！



京都市中部障害者地域生活
支援センター「なごやか」

中條了

今号の巻頭言を読み、『べ
ての家』の向谷地生良さん
が書かれたある一文を思い出
した。

助論』向谷地生良・著、金剛
出版、2009年)

正直いって「障害者自立支
援法（現：障害者総合支援
法）」には、なんともいいよ
うのない「居心地の悪さ」が
ある。（中略）そこには、國
の責任を曖昧にしたまま「民
活」に頼ってきたわが国の精
神医療の荒廃と同じ構図が透
けて見える。それは、本来は
精神医療体制が、精神障害を
抱えた人たちの治療や社会参
加を促進するためにあるべき
なのに、いつの間にか、それ
が反転し「精神科病院を中心
とした精神医療体制を維持す
るために患者は存在し続け
る」構図ができあがり、その
現状から脱しないまま、同じ
過ちを福祉においても繰り返
そうとしていることである。
（『統合失調症を持つ人の援

著書が出版されたのが10
年前。昨今、関係者の方から
「利用者が来ない」「安定し
た利用につながらず経営が苦
しい」という声をよく耳にす
る。現行の制度が「成果主
義」により報酬を得るシス
テムであるため、利用者の獲得
と安定した利用が事業所の收
入に直結する。

利用者大募集!!
就労 移行支援
就労 繼続支援B型

見学
体験利用
受付中

京都市朱雀工房、西山高原工作所、
ワークステーションかれん工房では上記
の利用者様を募集しています。お気軽に
ご相談ください。

広報委員会 委員

中林 壮介（西山高原工作所）
中條 了（支援センター「なごやか」）
梅沢 信吾（ワーキング われん工房）
高橋 恒明（京都市朱雀工房）
中村 美恵（支援センター「なごやか」）
田上 嘉之（グループホーム賀陽・山ノ内・光）

普段、3人とは全く別事業所の面々でなか
なかゆつくり話をする。今回、話を聞いて少
機会もありませんでした。安心しました。発展
した。インタビュー開始時は少し緊張した面持
ちで話をされていましたが、時間が経つにつ
れて色々な話が出ました。3人の話を聞いてい
るといふと自分が若い頃にそんなにしつかりした
考へを持って働いていたかなと思いました。
京都光彩の会も発展し

時々、3人とも同じく引き受けで下さり、また業務が忙しいな
間を過ごさせて頂きました。これからのご活
躍に期待しています。

（梅沢）

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai.Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより
発行:京都光彩の会 広報委員会
印刷:西山高原工作所

